

天吊り用金具 FPM-KZ100S

取扱説明書

このたびは、天吊り用金具【FPM-KZ100S】をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。
必ず販売店や工事店に依頼して安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

天井吊り用金具の取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や取り扱い不備による事故や損傷については当社では責任を負いません。

天井吊り用金具の組立時はボルト、ナット等を完全に締め付けてください。
また、落下防止ワイヤーは必ず2か所に取り付けてください。

本製品が取り付け可能なプロジェクターは下記のとおりです。

富士フイルム製プロジェクター
FP-Z8000/Z6000シリーズ、FP-ZUH6000シリーズ

もくじ

同梱品の一覧	3
安全上のご注意	4
取り付け方法	
天井取付金具を天井に取付ける	5
プロジェクター本体にプロジェクター取付金具を取り付ける	6・7
天井取付金具にプロジェクターを吊下げる	8
落下防止ワイヤーを取付ける	9
設置角度の調整	10・11
仕様	12

同梱の部品一覧

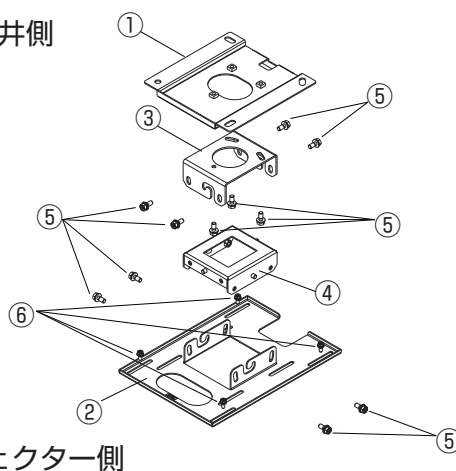
はじめに

- 製品が間違っていないか、付属品がきちんとそろっているか、お確かめください。
- 設置にあたりプラスドライバーをご用意ください。

品番	品名	外観図	数量	用途
①	天井取付金具		1	プロジェクター取付用
②	プロジェクター取付金具		1	
③	回転角度調整金具		1	
④	水平角度調整金具		1	
⑤	M8 × 20 セットボルト		11	取付金具組立用
⑥	M6 × 18 セットボルト M6 ワッシャー		4	プロジェクター取付用
⑦	M8 アイボルト		2	落下防止用
⑧	M8 樹脂ワッシャー		2	
⑨	M8 スプリングワッシャー		2	
⑩	落下防止ワイヤー (L=260)		2	
⑪	落下防止ワイヤー (L=560)		2	
⑫	リングキャッチ		1	水平角度調整用
⑬	両口スパナ (13mm、10mm)		1	
⑭	取扱説明書 (本書)		1	

●全体の構成

天井側



プロジェクター側

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

警告



禁止

工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



プロジェクターの取り付けや、取り外し作業は2人以上で行って下さい。
プロジェクターが落下してけがをしたり、プロジェクターが破損する原因となることがあります。



禁止

荷重に耐えられない天井には取り付けしないで下さい。
天井の強度は、少なくともプロジェクター重量の4倍以上の強度に耐える必要があります。
もし、強度が不足している場合はまず天井面を補強してから吊り下げ金具を取り付けてください。

警告



禁止

天吊り用金具FPM-KZ100Sは、富士フィルム製プロジェクターFP-Z8000/Z6000シリーズ、FP-ZUH6000シリーズを天井に吊下げるためのものです。
それ以外のプロジェクターの取り付けには絶対使用しないで下さい。
この指定を守らないと、プロジェクターが落下してけがをしたり機器が破損する原因となります。



禁止

湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。
また、暖房器具の直上にはプロジェクターを取り付けしないで下さい。
プロジェクターに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



組み立ての手順をまもり指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとプロジェクターの取り付け後に破損や落下等思わぬ事故の原因となることがあります。

天井への取付方法

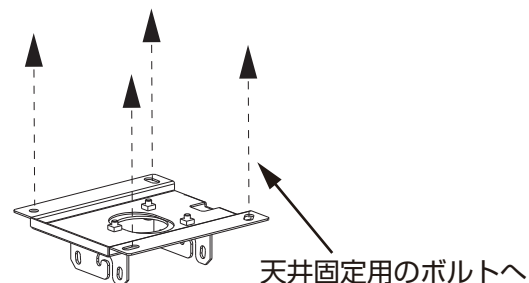
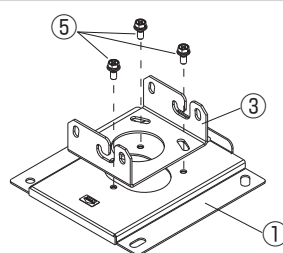
取付の前に、設置される場所の高さ・広さ・建物構造をご確認の上、プロジェクターの取付位置を決めてください。

スクリーンまでの投写距離はプロジェクターの取扱説明書または投写シミュレーターをご覧ください。

天井取付金具を天井に取り付ける

①天井取付金具と③回転角度調整金具を⑤M8×20セットボルト3本を使って固定します。
後程回転角度の調整を行うため締めすぎないようにしてください。

③回転角度調整金具と組み合わせた①天井取付金具を天井固定用のボルトを使ってしっかりと締め付けます。
①天井取付金具を取付ける際は『LENS』表記がプロジェクターのレンズ側になるように設置します。



⚠ 警告

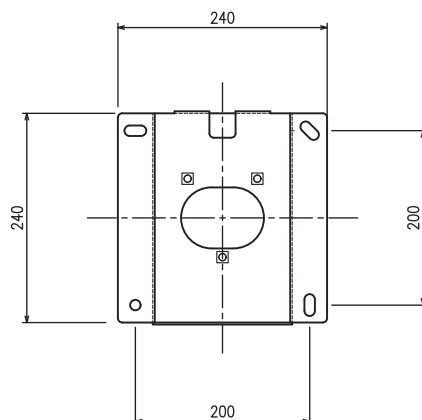
天井固定用のボルトはM10又はW3/8を使用してください。
上記以下のボルトを使用するとプロジェクターが落下してけがの原因となります。
天井固定用のボルトやナットは付属しておりませんので設置環境に応じてご用意ください。

⚠ 警告

荷重に耐えられない天井には取り付けないで下さい。
天井の強度は、少なくともプロジェクター重量の4倍以上の強度に耐える必要があります。
もし、強度が不足している場合はまず天井面を補強してから吊り下げ金具を取り付けてください。

①天井取付金具の取付寸法については、下記図を参照してください。

天井設置面寸法図 (単位: mm)



▶角度調整方法については、「P.7 水平方向の角度を調整をする」を参照してください。

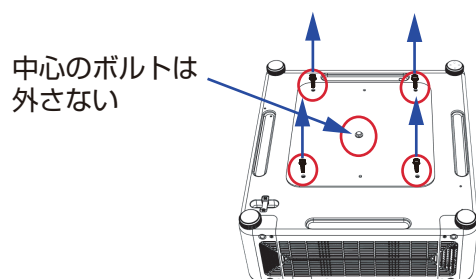
プロジェクター本体にプロジェクター取付金具を取り付ける

⚠ 注意 プロジェクター本体裏側の形状の違いにより、取付手順及びセットボルトが異なります。

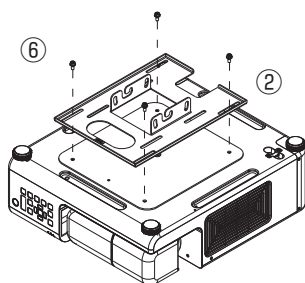
〈FP-Z8000/Z6000〉

プロジェクター本体の裏側プレートを固定している
四隅のボルト（4つ）を外します。

▲注意
中心のボルト（1つ）は取り外さないでください。

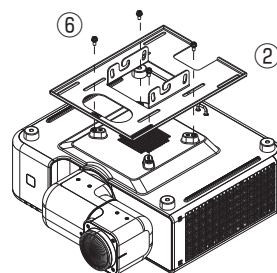


プロジェクター本体の裏側にある調整脚を外し、
⑥M6×18のセットボルトとM6ワッシャーを
使い、プロジェクター本体に②プロジェクター
取付金具を取り付けます。



〈FP-ZHU6000〉

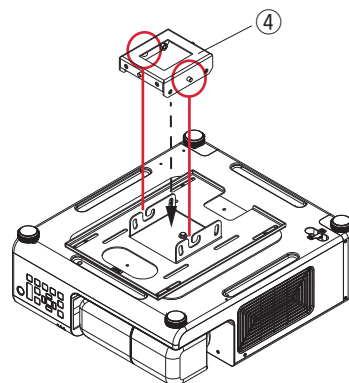
⑥M6×18のセットボルトとM6ワッシャーを
使い、プロジェクター本体に②プロジェクター
取付金具を取り付けます。



(次ページにつづく)

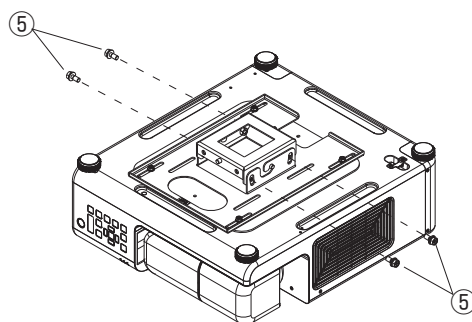
プロジェクター本体にプロジェクター取付金具を取り付ける（つづき）

- ④水平角度調整金具の左右のフック部分に
②プロジェクター取付金具の突起部分を引掛けて取り付けます。



取り付けた②プロジェクター取付金具と④水平角度調整金具を
⑤M8×20のセットボルト4本を使用して取付けます。

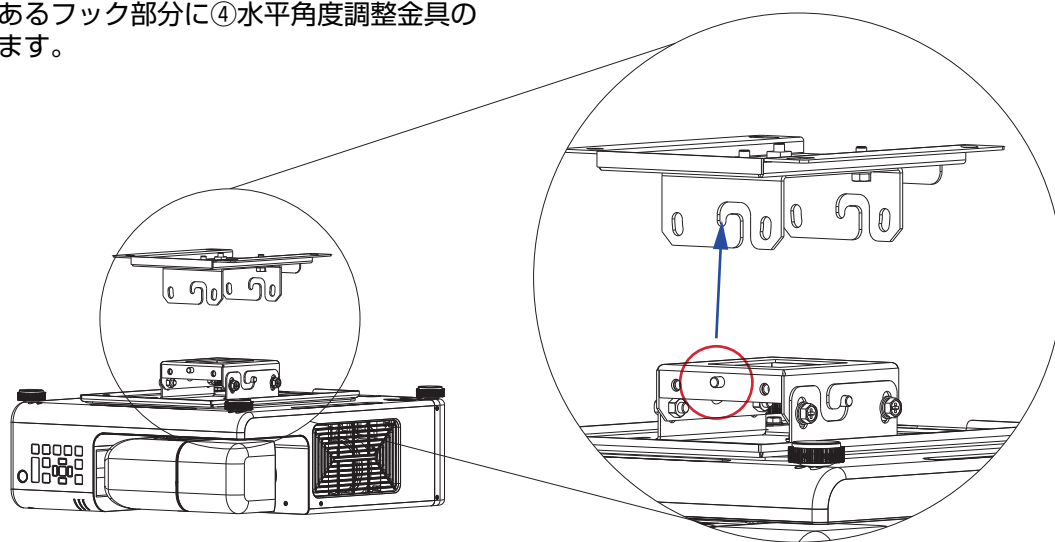
なお、4カ所のボルトは傾き調整用に使いますので、
ここでは仮止めします。
調整後にしっかり締め付けてください。



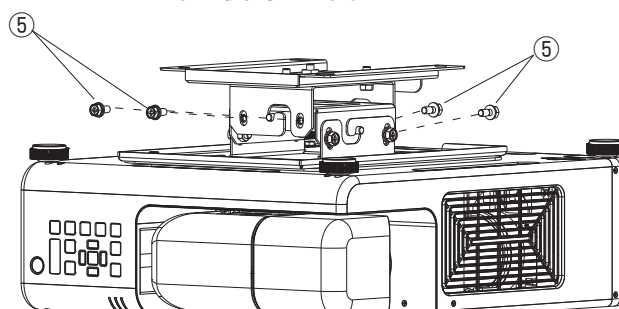
▶傾き調整方法については、「P.10 左右角度を調整をする」を参照してください。

天井取付金具にプロジェクターを吊り下げる

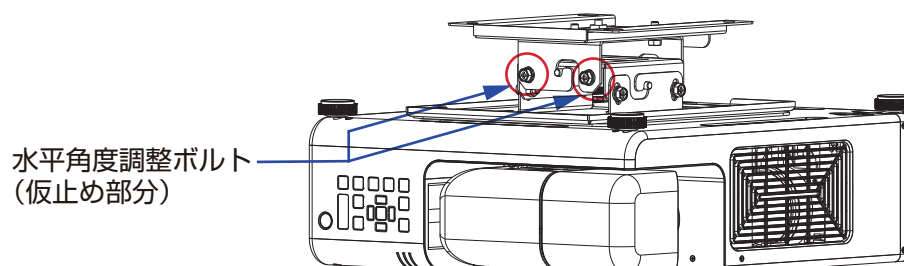
①天井取付金具と組み合わせて天井に取り付けた③回転角度調整金具の前後にあるフック部分に④水平角度調整金具の突起部分を引掛けます。



④水平角度調整金具の突起部分が確実に掛かっていることが確認できたら⑤M8×20セットボルト4本を使用して固定します。



なお、ボルトは水平角度調整用として使用しますのでここでは仮止めします。
調整後にしっかりと締め付けてください。



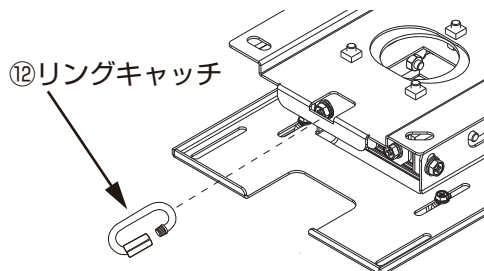
▶ 水平角度調整方法については、「P.9 水平角度を調整をする」を参照してください。

落下防止ワイヤーを取付ける

天吊り設置後はプロジェクターの落下と横揺れ防止のために落下防止の工事を行ってください。

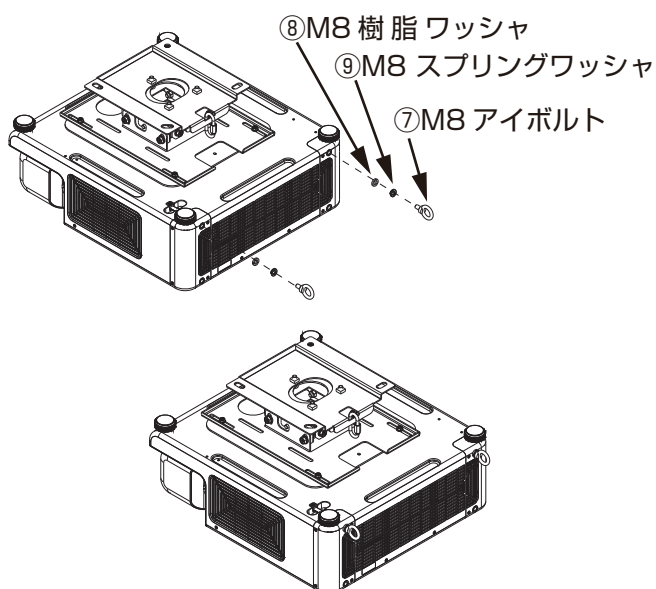
△ 注意 取り付けるプロジェクターによって、落下防止用ワイヤーの取り付け方法が異なります。

①天井取付金具の背面側開口部分に⑫リングキャッチを取付けます。

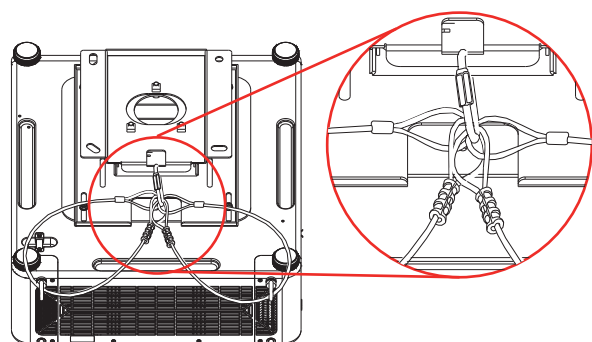


〈FP-Z8000/Z6000〉

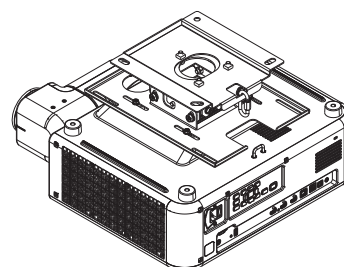
プロジェクター本体の背面部にあるボルト穴2箇所
⑦M8アイボルトを取り付けます。



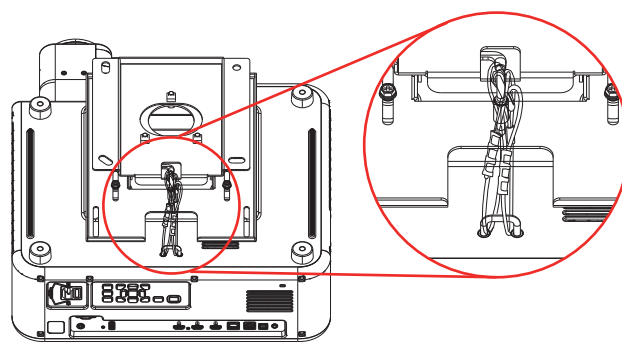
⑩落下防止ワイヤー (L=560) をプロジェクター本体に取り付けた⑦M8アイボルトに通します。ワイヤー両端の輪を上記で取付けた⑫リングキャッチに掛けます。もう1本の落下防止ワイヤーも同様にアイボルトに通した後、両端の輪を⑫リングキャッチに掛けます。⑫リングキャッチに4本の輪が掛かっていることが確認出来たら、リングキャッチのネジをしっかりと締めこみます。



〈FP-ZUH6000〉



⑩落下防止ワイヤー (L=260) をプロジェクター本体のワイヤーフックに通します。ワイヤー両端の輪を上記で取付けた⑫リングキャッチに掛けます。もう1本の落下防止ワイヤーも同様にアイボルトに通した後、両端の輪を⑫リングキャッチに掛けます。⑫リングキャッチに4本の輪が掛かっていることが確認出来たら、リングキャッチのネジをしっかりと締めこみます。

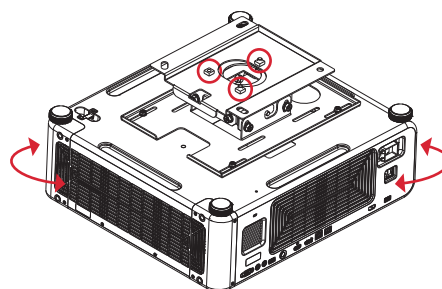
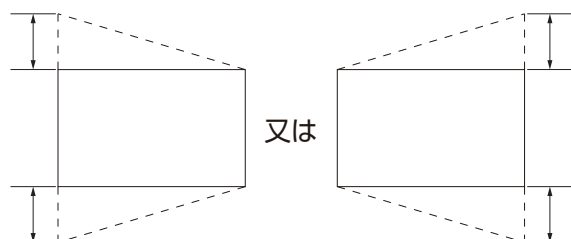


投射角度の調整方法

- ・天吊金具には水平方向の回転機構、上下左右の傾き調整機構、前後のスライド機構があります。プロジェクターのレンズ面とスクリーンが直角となるように調整してください。
- ・プロジェクターの取扱説明書をご参照の上、プロジェクターから映像を投射し、投射画面サイズ、フォーカスを仮決めした後に角度調整を行ってください。

■水平方向の回転角度を調整する

- ・③回転角度調整金具に取付けた⑤M8×20セットボルト（3カ所）を内側から⑬スパナを使用して緩めます。
- ・投射画面の上下端が水平になるようにプロジェクター本体を水平方向に回転させます。
- ・角度の調整が終わったら⑤M8×20セットボルト（3カ所）をしっかりと締め付けます。



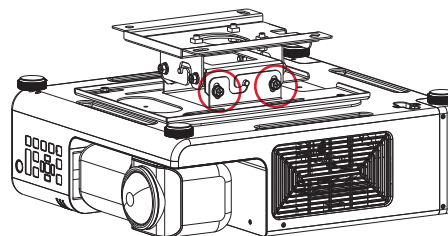
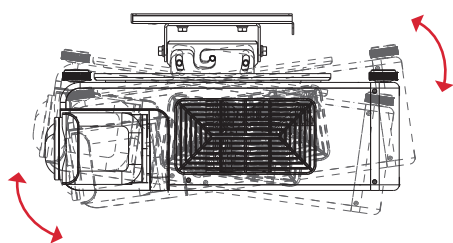
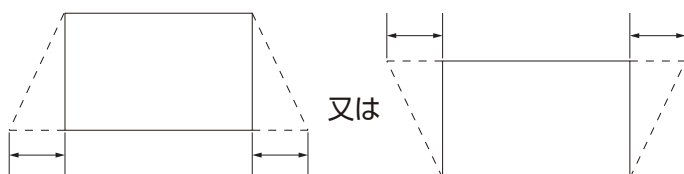
※最大調整角度±5°

⚠ 注意

ボルトは緩めすぎないでください。ボルトを緩めすぎると本体が落下する恐れがあります。

■垂直角度を調整する

- ・②プロジェクター取付金具のフック部分に取付けた⑤M8×20セットボルト（4カ所）を緩めます。
- ・投射画面の左右端が水平になるようにプロジェクター本体の垂直角度を調整します。
- ・角度の調整が終わったら⑤M8×20セットボルト（4カ所）をしっかりと締め付けます。



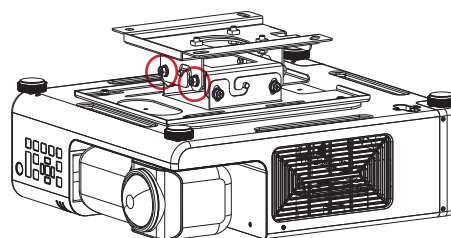
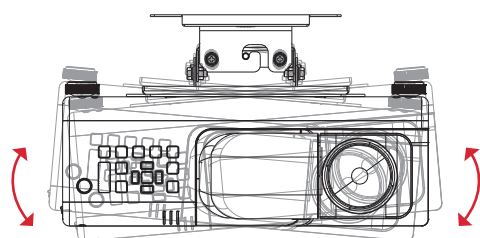
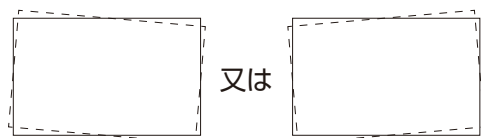
※最大調整角度±8°

⚠ 注意

ボルトは緩めすぎないでください。ボルトを緩めすぎると本体が落下する恐れがあります。

■水平角度を調整する

- ・④水平角度調整金具の⑤M8×20セットボルト（4カ所）を緩めます。
- ・投射画面がスクリーンに対して傾きなく投射されているように角度を調整します。
- ・角度の調整が終わったら⑤M8×20セットボルト（4カ所）をしっかりと締め付けます。



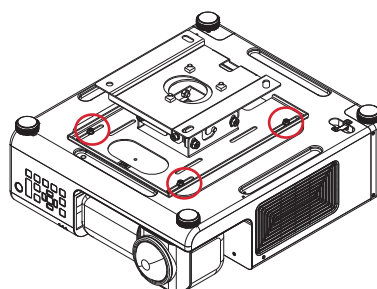
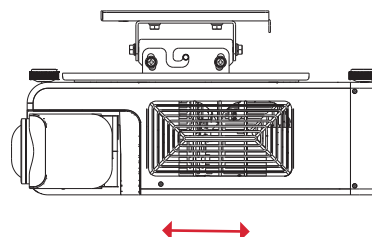
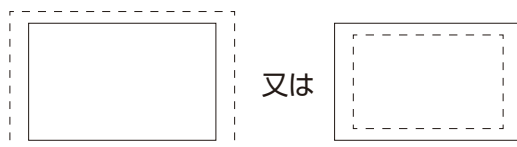
※最大調整角度±5°

⚠ 注意

ボルトは緩めすぎないでください。ボルトを緩めすぎると本体が落下する恐れがあります。

■投射映像の大きさを調整する（前後スライド機構を調整する）

- ・②プロジェクター取付金具と⑥M6×18セットボルト（4カ所）を緩めます。
- ・プロジェクターを前後に動かし投射画面がスクリーンに納まるように位置を調整します。
- ・位置の調整が終わったら⑥M6×18セットボルト（4カ所）をしっかりと締め付けます。



⚠ 注意

ボルトは緩めすぎないでください。ボルトを緩めすぎると本体が落下する恐れがあります。

全ての調整作業が終わったらすべてのボルト・ネジをしっかりと締め付け固定されていることを再度確認してください。

仕様

製品名 : FPM-KZ100S

外形サイズ : W 260 × D 356 × H 100 (組立時、突起部含まず)

質量 : 6.0kg

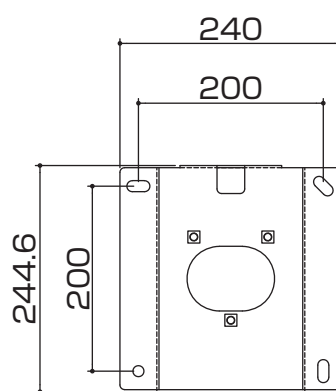
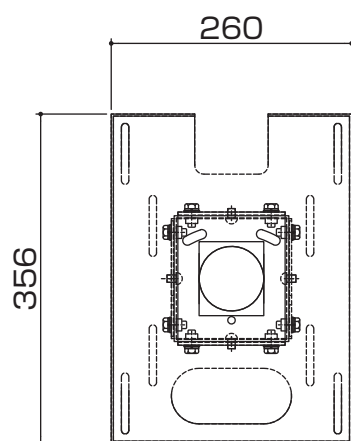
調整角度 : 垂直角度 $\pm 8^\circ$

水平角度 $\pm 5^\circ$

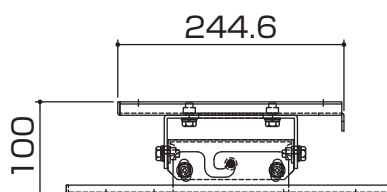
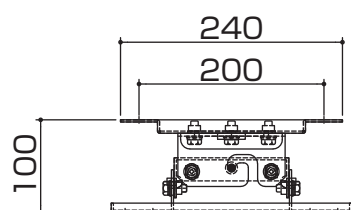
回転角度 $\pm 5^\circ$

前後スライド $\pm 30\text{mm}$

外形寸法



《 天井取付金具 》



KIC 株式会社 ケイ アイ シー

〒160-0022

東京都新宿区新宿1-28-11

TEL. 03-3357-4839 (代)

<https://kic-corp.co.jp>